

開催日及び場所		令和5年11月28日(火) web会議		
委員		下山 慶太(公認会計士) 宮島 哲也(弁護士) 大藤 淑子(税理士)		
審議対象期間		令和5年7月1日 ~ 令和5年9月30日		
審議対象案件		7件 うち1者応札案件4件		
抽出案件		5件 うち1者応札案件3件 (抽出率71.4%) (抽出率75%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	0件	
		指名競争	公募型指名競争	
			工事希望型競争	
			その他の指名競争	
		随意契約		
	業務	一般競争	0件	
		指名競争	公募型競争	
			簡易公募型競争	
			その他の指名競争	
		随意契約	公募型プロポーザル	
			簡易公募型プロポーザル	
			標準型プロポーザル	
	その他の随意契約			
	物品・役務等	一般競争	7件 うち、1者応札案件4件	
		指名競争		
随意契約(企画競争・公募)				
随意契約(その他)		0件		
(特記事項)				
委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問 (詳細に記述すること。)	回答等 (詳細に記述すること。)	
		別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・ 特段意見なし		
[これらに対し部局長が講じた措置]				

事務局：

(注1) 必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所要の変更を加えることができる。

(注2) 公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

意見・質問	回答等
<p>1 病理標本バーチャルスライドデータクラウド保存・閲覧システム提供業務</p> <p>昨年度の落札額はいくらか。</p> <p>価格の上り幅の合理性はどのように検討しているか。</p> <p>価格の適正性を検証した過程を担保として残しておいた方が良いのではないか。</p>	<p>昨年度は1,319,450円となっており今年度は若干金額が上がっており、人件費等の上昇と思われる。</p> <p>昨年度との比較は特に行っていない。</p> <p>今後は価格の適正性について検証をどのように整理していくか検討して実行していきたい。</p>
<p>2 薬剤耐性対策のためのゲノムデータベース用基盤提供及び基盤保守業務</p> <p>システム関係の契約案件で応札者が2者となっているが、他者が作ったシステムでも他の会社が参入できた理由は何かあるか。</p> <p>競争が働き価格も下がるので今後も可能であれば継続いただきたい。</p>	<p>調達仕様書の修正にあたり複数業者に対応可能か事前相談をした結果、今回複数応札となったと思われる。</p>
<p>3 令和5年度分析機器等点検等業務</p> <p>応札者を増やす事は難しい業務か。</p>	<p>当所へ納品等で来所した業者に対しては広く声掛けは行っている。</p>
<p>4 排水滅菌処理設備点検整備業務</p> <p>昨年度も同じ落札者か。</p> <p>見積辞退の理由は何か。</p>	<p>同じ落札者。</p> <p>見積辞退の理由は必要な人員を確保できないためや年間スケジュールが決まっており新規顧客の対応不可といった内容であった。</p>
<p>5 申請文書電子ファイル化作業</p> <p>昨年度の落札者は。</p> <p>業務の進捗状況に問題はなにか。</p>	<p>株式会社信興。</p> <p>特に問題無く業務を遂行している。</p>
<p>6 全体を通して（総評）</p> <p>問題なく入札・契約手続が行われている。入札参加者を増やす努力は今後も継続していく必要はある。また、今回の1番の案件のように価格の適正性の対応もお願いしたい。</p> <p>今後も引き続き、今回委員から出た意見について、入札事務を行う上の参考にしつつ、引き続き適正な入札・契約手続を行って頂きたい。</p>	